

第 24 期第 3 回運営委員会報告

日時：2007 年 7 月 20 日(日) 13:00-18:45

場所：(財)テレコム先端技術研究支援センター 7F 会議室

出席者(敬称略)(13 名/ 定足数 11 人)：歌田久司 津田敏隆

石井 守 石川尚人 臼井英之 河野英昭 齊藤昭則

田口 真 長妻 努 野澤悟徳 山本 衛 吉川一朗

清水久芳

欠席者：阿部琢美 小川康雄 北 和之 木戸ゆかり 高橋幸弘

1. 前回(第 24 期第 2 回)運営委員会議事録の承認(石井)

・承認された

2. 入退会(清水)

入会者 3 名を承認した。

・入会者(4 名)

- 正会員(一般) 3 名：柴田泰邦(所属：首都大学東京、紹介者：長澤親生・阿保真)、
アルヴェリウス幸子(名古屋大学、関華奈子・海老原祐輔)、中村琢磨(宇宙航空研
究開発機構、中村正人・阿部琢美)

- 正会員(学生) 1 名：西尾泰穂(東海大学、遠山文雄・大西信人)

3. H18 年度決算報告(山本)

・7 月 19 日に、平成 18 年度決算に対する監査委員会[監査委員は船木實会員(極地
研)と小原隆博会員(NICT)]が開催された。決算資料案には重大な問題はなかった。

4. 国際学術交流事業応募書類審査(石井)

・1 件の応募について審査を行ったが、書類不備等の理由により、採択の可否につい
ての結論には至らなかった。今後、再審査を行う。

5. 秋学会(第 122 回講演会)について(野澤・石川・石井・齊藤)

・秋学会への講演申し込み受付状況が報告された。講演申し込み総数は 374 件(オ
ーラル 180 件、ポスター 134 件、どちらでも可 60 件)。

・学会のプログラム案(コマ割り案)が提示された。一般講演会を含めたパラレルセッ
ションの状況を再確認し、微調整を行い、コマ割り案を確定した。

・SGEPSS 創立 60 周年特別セッション案として、開催日時、座長、講演についての案
が提示された。9 月 30 日の午後、90 分のセッションを予定。講演数は 3-5 件。

・学生発表賞の本年度の審査員(第 1 分野 2 名、第 2 分野 4 名、第 3 分野 5 名)が決定

した。

6. 学会連合について(高橋 [石井代読])

- ・7月6日に運営会議が開かれ、2007年の連合大会についての総括がされた。
- ・将来構想委員会が立ち上げられた。8月より会合が月1回程度もたれる予定。本学会からは、中村正人会員、本蔵義守会員、石井守会員が参加。

7. アウトリーチ活動について(長妻)

・SGEPSS__アウトリーチ Web プロジェクトの目的と進捗状況について報告された。本プロジェクトは、中高生をメインターゲットとしており、将来SGEPSS関連分野についての興味を喚起することを目的としている。現在は、各分野についての内容作成とWeb作成を平行して行っており、秋学会までに雛形をつくることを目標としている。内容等の詳細について、運営委員会で議論を行う。

・秋学会時に開催される一般講演会の準備状況が説明された。

- 開催日時は9月29日13:00-16:00、開催場所は名古屋市科学館。
- 本年は固体地球分野の講演会を行う。講演者は藤井郁子会員(地磁気観測所)と吉田茂生会員(名古屋大学)。
- 本講演会は、名古屋市科学館、STE研、SGEPSSの3者が行う。

8. EPS 関係(齊藤)

- ・本年度の出版ページ数が増加し、テラパブとの契約である1400ページを超過することが見込まれることが報告された。

9. 男女共同参画関係について(長妻)

・男女共同参画学協会連絡会の活動について報告された。6月に第4回の委員会が開催され、女子高生夏の学校への後援、大規模アンケートの集計ボランティア募集、学協会連絡会への会費納入について、各学会への協力依頼が出された。

・男女共同参画 WG によるポストク問題アンケート調査のまとめ作業について、進捗状況が報告された。

・秋学会期間中に保育室(託児室)が設置される予定。7月下旬までに4家族の保育室使用の希望があった。

10. 会報関係(河野)

・会報に、学生等若手が興味を持って読める記事があったほうがよい、という提言があった。

・次号会報は秋学会プログラムと一緒に9月14日発送予定。スケジュールは、

原稿依頼： 7月27日(金)まで

原稿〆切： 8月24日(金)

発送会社へ： 9月4日(火)

会員へ発送： 9月14日(金)

11. 平成20年秋学会開催地(石井)

・秋学会の開催候補地選定についての報告がされた。

12. 名誉会員の推挙について(石井)

・名誉会員の推挙について、候補者と今後のスケジュールが示された。

13. 集中審議事項

13-1. 会費納入促進のための方策(山本)

・会費の当該年度納入率の向上について、以下の提案がされた。議論の結果、来年度からの実施について承認された。(1) 会費納入通知を3月中に郵送する。また、学会名と会費納入通知であることが一目でわかるような封筒を用いる。会費の納入期限は6月末。学生会員については、継続のための手続きを同時に伝える。(2) 会費の納入期限を明らかにする。3月中に通知する場合には、6月末を期限とする。) (3) 会費徴収の作業をモデル化する。

・本年度は、8月中に督促状を出す。また、秋学会において、会費の受け入れを実施する。

・海外会員の納入率向上の方策については、今後検討する。

13-2. 学生会員増加のための方策(清水)

・学生会員増加のための方策案のたたき台が提案され、方針について議論された。方針に沿った具体的な議論を今後行う。

13-3. 国際学術交流の審査方法(石井)

・これまでの国際学術交流助成制度選考上の問題点と改定案が提示され、議論された。変更点は以下の通り。(1) プレゼンテーション能力を高めるという教育的な目的に基づき、わかりやすい言葉で自らの研究をアピールする項目を作り、重視する。(2) 募集時に学会開催時期を指定する。(3) 複数回の採択は禁止する。(4) 専門に近い運営委員が事前に書類を審査し、運営委員会での審議時はその情報を参考にする。(5) 応募資格年齢を引き上げ、応募時に37歳とする。

・上記変更に伴い、申請書のフォーマットを変更する。研究歴、本学会大会での発表が明らかになるようにする。

13-4. 委任状の回収方法(臼井)

- ・総会委任状回収案のたたき台が提示され、議論された。
- ・電子ベースの委任状の採用について検討された。セキュリティーの問題から、導入に対して慎重な意見があった。しかし、現行の委任状と電子ベースの委任状の両者を用いることによる効果が見込まれることから、学会員の意見を、学会メールリストや総会にて問うこととした。
- ・秋学会参加申し込み用紙に委任状を印刷し、総会欠席予定者には、受付時に委任状提出をよびかけることとした。本年の秋学会から実施する。

13-5. 若手会と学会の関係(石井)

- ・地球電磁気関連若手会は、現在は SGEPPS 本体と独立の存在として活動しているが、若手会が SGEPPS 傘下の組織であるかのような表現をする例が見られる。現状では、学会としての対応が不可能であるため、以下のどちらかを選択するように、若手会に希望を聞くこととした。
 - SGEPPS からの独立性を保ち、SGEPPS の名称、ロゴを用いない。
 - SGEPPS の名称を用いるのであれば、分科会になるなど、学会本体とのつながりを明確にする。

14. 次回開催日

運営委員会 9月28日 18:30-21:30 場所:TBA

評議員会 9月29日 18:30-20:30 場所:TBA

総会 9月30日 15:00-16:30 場所:学会B会場(野依記念館2階会場)

15. その他

15-1. 将来における学会およびEPSのあり方について(歌田)

- ・連合法人化の際に、連合のもとでの本学会のありかたと、連合に対する本学会からの働きかけ、および、連合、EPS、本学会の関係についての意見交換を行った。

15-2. 事前報告・承認事項

15-2-1. 学校教育WG報告(木戸)

- ・9月の学会中に会合を持って、最終的な原稿に仕上げる予定。7月18日現在、固体系は、第一回の査読が終了し修正中。超高層は、初稿の作成中。冊子発行に当たっては、内容を運営委員会での承認を得る。
- ・印刷にかかる費用は、STEの研究集会の予算を一部あてる予定。
- ・SGEPPS学校教育WG編著の名前を使う予定。学会への必要手続き等を確認中。

15-2-2. 学会創立 60 周年記念事業報告(石井)

・この事業については連合大会後にワーキンググループを結成し、メーリングリストを立ち上げて議論してきた。メンバー構成以下の通り。

運営委員会:歌田・石井・臼井・清水・河野

会員有志:荒木徹先生・佐納康治先生

・基本的な資料の準備の一環として、学会会報の電子化を行い、1号から全ての電子化が完了した。152号までは <http://salmon.nict.go.jp/ftp/FPI/SGEADM/kaihou/>にて、また、153号以降は学会 Web にて公開中。

・会長経験者に寄稿依頼の手紙を郵送した。(第8期上山弘会員以降)

15-2-3. 共催協賛関係(清水)

(1)共催 「第51回宇宙科学技術連合講演会」(日本航空宇宙学会)

2007年10月29日-31日 札幌コンベンションセンター

(2)後援 「惑星ぜんぶ見ようよ」キャンペーン(自然科学研究機構 国立天文台)

2007年6月1日から2008年5月31日までの1年間

(3)協賛 第25回レーザーセンシングシンポジウム(レーザーレーダ研究会)

2007年9月13日、14日 田沢湖高原温泉郷 駒ヶ岳観光ホテル

(4)後援 平成19年度「女子高校生夏の学校～科学・技術者のたまごたちへ」

(国立女性教育会館)

2007年8月16日-18日 国立女性教育会館(埼玉県比企郡)